

酒々井町

郷土研究会会報

第97号

平成12年7月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

本佐倉城跡周辺の

散策(七)

高橋 健一

9 本佐倉町と本町

酒々井町上本佐倉は江戸時代の印旛郡本佐倉町にあたります。本佐倉町は『佐倉風土記』によれば、酒々井町(酒々井町酒々井)、田町・新町・弥勒町・本町(以上佐倉市)とともに佐倉六町といわれていました。徳川氏家臣松平家忠の『家忠日記』天正二〇年(一五九三)以降の記事にみえる「佐倉」、文禄四年(一五九五)の伊奈忠治等連署手形にみえる「佐倉」は、いずれもこの本佐倉町を指したものです。先の手形によると、徳川家献上の

ために香取郡森山岡飯田(小見川町)から江戸へと輸送された柑子蜜柑は、府馬(山田町)、鏑木(千鴻町)、多古(多古町)から佐倉(本佐倉町)を経由して白井(佐倉市)・大和田(八千代市)・船橋(船橋市)などを経て江戸の小伝馬町まで運ばれました。ここに佐倉から白井方面への陸上交通路が整備されていた状況が窺えます。

これより以前、天正十五年(一五八七)八月十一日には次のような文書が相模国小田原(神奈川県)の北条家から発給されています。

伝馬式足可出之、栗原証人成毛・寺嶋二被下、可除一里一錢者也、仍如件、

(「常調」朱印)

丁亥

八月十一日

山角紀伊守

奉之

自小田原佐倉迄
宿中

この文書は、小田原から佐倉までの区間にある北条氏領内の宿駅に対して、北条家が伝馬の継立を命じるために使用者に下付したものです。使用者は「栗原証人成毛・寺嶋」とありますので、佐倉の栗原(栗飯原)氏が北条氏に証人(人質)として差出していた成毛・寺嶋の兩名でした。この当時には、「佐倉の本町ハ元鹿島宿と云、千葉家本佐倉に治城のをりふりたしの宿なり、今猶継場ハ此宿にてつとむと云」(『成田参詣記』)というように、本佐倉町の西隣に位置する鹿島宿(佐倉市本町)が継立の宿場として整備されていたようです。

室町時代後期(戦国期)の鹿島宿には、筋・嶋田・小高・深山・中台・鶴岡・大谷・渡利氏などが居住していました。

佐倉市本町周辺には現在も古道が多く残されており、本佐倉城下の陸上交通の宿場の面影を要所に留めています。

「御成街道を歩く」

滝川 京子

綻びかけた桜も首をすくめるような花冷えのさむしい一日、御成街道を歩くのも今日で最後。今日のコースの始まり日吉神社へと出来たばかりの山王坂を上る。坂の途中左手に道祖神の祠があつてわらじと並んで赤や黄のサンダルが供えてあつた。だいたい足の健康を願つて合掌。八鶴湖の辺りで昼食。寒いので早々に次のコース本漸寺へ向かう。「伝えに曰く往昔は七堂伽藍の大寺という。往時が偲ばれる立派なお寺に感激。」東金城主酒井氏代々の菩提寺の境内左奥には正保四年建立とある「大壇那酒井氏一類」と刻まれた一段と大きい供養塔が目立ち、その左右には酒井氏の旧臣たちの墓碑がひっそりと立ち並んでいた。ここでは本漸寺にまつわるエピソード「昼鐘」と「横穴」の二つについて会長さんから話を聞く。本漸寺を後に隣接した東金御殿跡へと歩く。現在は東金高枝が建ち枝庭に植えられた木々の彩りが女子枝らしい華やぎを見せてくれる。東金御殿跡はその片鱗すら見

ること叶わず時の隔たりが沁々と実感された。八鶴湖をはさみ本漸寺の対岸にある最福寺に向かう。最福寺は上総十ヶ寺の一つで家康公より三十石の寺領を受けた御朱印寺でもあるとか。落椿と山桜の散り敷いた境内で、御成街道を歩いた完歩証が会長さんより一人一人に手渡された。証書には極寒・炎暑の中を歩き続け無事完歩されたことを証しますと九回に亘つて歩いた道程が記されてある。完歩証を手にして改めて歩いた道々の印象、記憶が甦える。ありがたい証書をいただいたことに心から感謝して帰路についた。

『伊篠・上岩橋方面』

の史跡を巡つて

石田 光男

エリート情報を見て、地元をもう少し知りたい、運動不足を解消したい、という理由で今回の行事に初参加させていただきました。

JR酒々井駅前出発、行程約十キロ、一万三千歩、六時間半、参加人数四十五人で十一か所を廻り、大変有意義な一日を過ごしました。各箇所で役員の方々から詳しい説明を受け、何も知らなかった私には非常に興味深いものがありました。そのうちのいくつかを、記述したいと思います。

『大崎馬頭観音』

黒馬（日照りの時、雨を願う）、白馬（雨の多い時、日照りを願う）、赤馬（赤は太陽を意味しやはり日照りを願う）の絵馬がかざつてある。

『伊篠の松並木跡』

酒々井停車場への道標がある。

『梅の甫場』

まったく同種の梅では交配は難しいので数種類の梅が植えてある。

郷土研日誌

月日	内容	人数	月日	内容	人数
3/24	印刷	7	5/18	名勝下見	2
29	横浜方面	45	21	編集会議	3
30	発送	20	23	一泊見学会	39
4/3	御成街道	37	26	研修部会	12
18	古文書学習	15	27	編集会議	3
25	野草観察会	37	30	名勝資料作	3
5/6	史談会	16	6/2	名勝探訪	47
14	町内史跡巡	45	3	史談会	22
15	一泊資料作	2	5	運営委員会	22
16	古文書学習	12	15	編集会議	5

【駒形神社】

麻賀多神社より小型の神社なので、昔は小麻賀多神社とっていたが駒形神社に改められた。

【長福寺】

阿弥陀如来像は平安時代のもの。蓮華座の型や衣装で時代がわかる。等々大変勉強になりました。このような機会がありましたらまた参加し新しい見方ができるようになりた

いと思いました。現在車社会。いつも車で素通りしてしまふその脇道をわずかに入ったところに数々の史跡があり、途中には黄色の可憐な花・キンラン、かわいらしい紫色のホタルカズラ、茶色のスカンポ等が人目を忍んで咲いています。

こんな山道を、のんびり歩き、又昔に思いを寄せる。こんな日もあっていいのではないでしょうか。初参加で楽しい経験ができました。



野草観察会に

参加して

渡辺 昌子

前夜は、電が降る荒れ模様で天候で心配しましたが、今日は絶好の観察日和、町バスで二時間、万木城が見え田んぼに囲まれたネーチャーセンターに到着しました。野草観察会には初めての参加です。会報で名前を拝見していた亀井先生にお会いできるのも楽しみました。一時間ほど散策しましたが先生は私たちのどんな質問にもペールを覗きながら答えてくださりただただ感心させられるばかりでした。仙洞草と杓、藪田平子と鬼田平子、子鬼田平子の違いと見分け方、春の七草のホトケノザは子鬼田平子であることも初めて知ることが出来ました。学習の為に協力してくれた野草を持ち帰り、昼食の後の勉強会ではテーブル毎に先生が回ってくださり図鑑を見たり教えあったり和やかなひとときでした。昼の時を利用して万木城まで数人の方が行きましたが、そこからの眺めは絶景だったと帰りのバスで報告があ

りました。年齢と共に衰える記憶力に野草の名前を覚えきれずにいます。が、三つ覚えればいいでしょうとの先生の言葉にホッとしました。小花の刺繍のジーンズのジャケットを着たかわいくてやさしい亀井先生のファンになった一日でした。これから観察会に参加し、私のこの図鑑に名前を増やしていきたいと思っております。



オニタピラコ



コオニタピラコ

会 計 報 告

横浜方面	収入	6500円×45人	
			=292500円
	支出	八街観光	262475円
		その他	11600円
	残		18425円

野草観察	収入	1500円×36人	
			=54000円
	支出	(弁当・お茶)	53213円
	残		787円

郷土史講座案内

『道が語る酒々井の歴史』

佐倉市教育委員会・高橋 健一

酒々井には佐倉、成田、芝山、千葉方面から数多くの道が集まる。戦国期には本佐倉城の城下町として発達し、また江戸時代には宿場として繁栄した町酒々井。時代とともにゆるやかに変貌はしたが、古道沿いには今なお文化遺産が多く残されている。今回は酒々井への道に注目し、道を語り部として酒々井の歴史を探ることになった。

『横浜方面見学会』

丸山 正義

三月二十九日早朝七時、前夜来の春の嵐が嘘のような好天に恵まれ、公民館を出発しました。バスから眺める晩春の景色をガイドさんの案内で楽しみ、車内の会話も弾むなかベイブリッジを渡り、最初の目的地、北条実時ゆかりの「称名寺」に到着

しました。参道両側の桜並木に数輪開花を見つけて幸せな気持ちになりました。

境内の花一・二輪今日開く
運慶作と伝えられる仁王像を左右に見て心字池にかかる朱色の太鼓橋を渡り本堂にお参りしました。老杉が鬱蒼と茂る山腹が間近に迫り、世俗を離れた荘重感に満ちていました。

「金沢文庫」は本堂左手奥、木立ちの中にありましたが収蔵資料を閲覧する時間がなく、次の目的地「三溪園」に向かいました。街中の雑踏を離れ、大池の水の青と周囲の樹木の緑、その中に点在する雪柳や辛夷の白い花に心が安らぎ、広い園内を内苑から外苑へと、日本各地から移築した歴史的建造物から伝わってくる時代の息吹に胸をときめかせながらの一時間でした。特に、紀州徳川家の別荘だった臨春閣の襖絵は永徳他狩野派の筆によるものと伝えられ、三百年余りの時の流れて色調こそ退化しているものの、その構図の妙に感嘆しました。

から見る港の景色、鴨の鳴き声と潮の香りにちよっぴり船旅気分を味わいながら昼食をとりました。その後、観覧コースに沿って船底のエンジンルームから一等船客用の社交室・客室、更に船長室から最上階の操舵室まで順次船内を見学し、下船後、暖かい春の日差しに包まれた山下公園を散策しました。

ゆったりと鴨たゆたふ浜の春最後に、臨海副都心として大きく変貌を遂げているお台場地区、その中でも一際目立つ「フジテレビ本社ビル・球体展望台」を見学しました。見学者のあまりの多さに圧倒され、人波に押されながら、地上百二十三メートルから二百七十度の眺望を楽しみました。テレビ局が観光の新名所となり大勢の人達が訪れるのは、テレビが今や私たちの生活のなかで大きなウエイトを占め、影響力の強さを示しているからでしょうがテレビが持つ魔力・吸引力に不安を感じないでもありません。

帰路は順調で、心地好い疲労感からついうとうととしている間に、午後五時前無事公民館に到着、楽しさ一杯の充実した一日でした。

見学

案内



日帰り見学会

八月二十二日(火) 雨天決行

日光方面

残暑厳しい時期ですが今回は日光まで出かけます。早朝の涼しい時刻に出発します。

初公開される日光山大猷院・三代将軍家光公が埋葬されている最も重要な霊域・奥の院を参拝します。

★奥の院拜殿

法事の際、拝礼などに使用した建物

★鑄抜門(いぬいもん)

家光公墓所への入口。間口二メートル、奥行き一、五メートルの唐銅製。扉に彫られた梵字は魔除けの十二天を意味する。これは当山のみ。

★家光公墓所と宝塔

間口は十八メートル、奥行き二十メートルの巨大な石柵に囲まれた中央に高さ四メートルの唐銅製の

の宝塔がある。宝塔は方位盤の形をした八角形の台座を八層重ねにした最上部に位置し内部には釈迦如来像と家光公の霊牌が安置されている。八層の台座は釈尊が悟りの境地へ導くために説いた八正道の実践を示したものとされる。家光公の尊骸は柩の規模などから少なくとも三メートルの深さに埋葬されていると推定される。

名勝探訪

台東・橋場方面

九月八日(金)
雨天代替九月十四日(木)

暑さが厳しいと思いますがゆっくり電車で上野まで行き、日比谷線に乗り換えて三ノ輪に向かいたいと思います。

ここから、今回の探訪が始まります。めまぐるしく走る車を横に見ながら先ず一葉記念館へ。ここで少し文学の世界に浸ってみましょう。

正宝院(飛不動尊)を参拝し鷲神社へ。この辺りは江戸時代に遊郭があつた所です。春慶院には仙台藩主に見初められた二代目おいらん吉野

太夫の墓があります。平賀源内の墓は見ることにはできませんが昔と今のこの辺の環境の違いに戸惑います。不動院(橋場不動尊)を参拝して家路につきまます。紫外線も強いので帽子等を被ってきてくださいね。

あとがき

北海道を除いて、全国的に梅雨入りしうつとうしい日が続いています。今社会では、十五、十六、十七歳の少年達の犯罪が話題になっていますが、皆様はいかが思われますか。江戸時代は十五歳といえは元服です元服後は大人としての責任を果たしていたようです。いろいろ考えさせられた事件でした。さて先日町内史跡巡りでは、戦時中に町内に米国の爆撃機B29が墜落し町中大騒ぎになったことがあったと伺いました。このような酒々井で大きな出来事なのに当時の人しか知り得ないという話をご存じの方、お教え下さい。郷土研究会も第三・四半期に入り行事もあり沢山。皆様のご参加お待ちしております。

郷土研行事案内

平成12年7月～9月

<p>史談会</p>	<p>7月 1日(土) 13:30 会議室 「千学集と妙見実録千集記」⑩ 講師：高橋健一先生</p>	<p>8月 休講</p>	<p>9月 2日(土) 13:30 会議室 「千学集と妙見実録千集記」⑪ 講師：高橋健一先生</p>
<p>古文書を 読む会</p>	<p>7月 18日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>	<p>8月 15日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>	<p>9月 19日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>
<p>郷土史 講座</p>	<p>8月20日(日) 13:30～ 会場：公民館講堂 演題：『道が語る酒々井の歴史』 13:00開場 講師：高橋健一先生(佐倉市教育委員会) 入場無料 後援：酒々井町教育委員会 ご来場お待ちしております。 酒々井町文化協会</p>		
<p>日帰り 見学会</p>	<p>8月22日(火)「日光方面」 定員：45名 会費：7500円 申込受付 7月7日(金) 9:00～10:00 公民館ロビー 公民館出発 6:30 帰着 18:10予定 キャンセル 実施日3日前までに青木朝次宅へ(☎ 酒々井 ——— 湾岸・幕張PA ——— 羽生PA ——— 大猷院 ——— 日光市内(昼食) ——— 中禅寺湖(二荒山神社) ——— 羽生PA ——— 湾岸・幕張PA ——— 酒々井</p>		
<p>名勝探訪</p>	<p>9月8日(金)『台東・橋場方面』 雨天代替9月14日(木) 集合 京成酒々井駅 8:05 弁当・飲み物持参 京成酒々井駅 — 上野 — 三の輪 — 大猷院 — 一葉記念館 — 正宝院 — 鷲神社 — 東禅寺 — 春慶院 — 玉姫神社 — 平賀源内の墓 — 不動院 — 南千住 — 上野 — 京成酒々井 (行程に一部変更あり)</p>		
<p>野草観察</p>	<p>9月29日(金) 雨天代替9月30日(土) 弁当・飲み物持参 集合時間・場所 9:30 JR酒々井駅(中央台側) 観察場所 菊賀神社辺り 会費100円 (午後公民館で勉強会をします。)</p>		